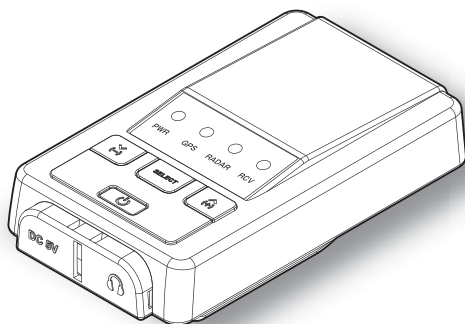


レーダー探知機

MOTO GPS RADAR EASY

取扱説明書



この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
本書には取付けおよび操作手順が説明されております。
正しくご使用頂くために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。
なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

- ・一部の車線変更支援システムを搭載した車両が自車の前方を走行している場合、本製品がレーダー警報を行うことがあります。異常ではありません。
※ 取締機と同一周波数を使用しているため、レーダー警報を行います。
- ・運転支援システム装着車の場合、取付位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、必ず車両の取扱説明書をご確認ください。

**本製品は安全運転と法規走行を促進するためのものです。
スピードの出し過ぎには注意しましょう。**



はじめに

取付け

基本操作

便利な機能

警報について

設定

その他

目次

目次	2	警報について	40
はじめに	3	オービス /GPS 警報	40
安全上のご注意	3	レーダー警報	55
ご使用上のお願い	7	無線警報	56
知っておきたいこと	9	設定	63
梱包内容	11	設定方法	63
本体各部名称	12	レーダー受信感度設定 (ASC 機能)	64
別売オプションおよび補修部品	15	LSC 機能	66
ご使用の前に	16	アラーム音を変更する	67
本体を充電する	17	オートパワーオフ設定	68
警報時の動作	18	GPS 警報設定	69
取付方法	19	無線警報設定	70
ポケットに入れて使用する	19	付録	71
ヘルメットスピーカーを使用する	19	取締りの種類と方法	71
バイクに取付ける	20	初期状態に戻す (オールリセット)	74
クルマに取付ける	22	ディスプレイモード (販売店向け機能)	75
基本操作	25	故障かな?と思ったら	76
電源を ON にする	25	製品仕様	77
電源を OFF にする	25	さくいん	78
内蔵バッテリーで使用する	26		
充電状態を確認する	27		
microSD カードの抜き差し	28		
音量を調整する	29		
オートディーマー機能	29		
便利な機能	30		
ユーザーポイントを登録する	30		
警報をキャンセルする	31		
GPS データを更新する	35		
レーダー本体をアップデートする	36		
アナウンス機能	38		
走行エリアを選ぶ	39		

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。






また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「危険」、「警告」、「注意」の3つに区分して説明しています。

危険 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。

警告 この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

注意 この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。












本書で使用している記号について


	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。
	衛星を受信している場合に対応する内容を説明しています。
OP	別途オプションが必要なことを示しています。
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
長押し	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)

本書の見かた

- ・本書では、GPS/GLONASS/みちびき/ひまわり/GAGAN を総称して GPS と記載します。
- ・各種設定操作は、【設定方法】(⇒ P63) を参照してください。

はじめに

⚠ 警告	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与える恐れがあります。
	穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
	異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
	運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
	エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
	microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。
	取付けネジの緩み、配線の噛み込みなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。

 注意

気温の低いところから高いところへ移動すると、本製品内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。電源ジャック、イヤホンジャックのカバーを開けて乾燥させてください。



本製品を下記のような場所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
- ・湿度が高い所やほこりの多い所。



microSD カードを本製品に差込む場合、差込方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。



本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。

- ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
- ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
- ・消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。



microSD カードを抜く時は、必ず本体電源が OFF になった事を確認してから抜いてください。microSD カードへのアクセス中に抜き差しを行うと、データ破損や本体故障の原因となりますのでご注意ください。














一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。






はじめに

内蔵リチウムイオン電池について

本製品の内蔵バッテリーにはリチウムイオン電池を使用しています。下記内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ 危険	
	分解したり、改造しないでください。リチウムイオン電池には危険を防止するための保護機構が組み込まれています。これらを損なうと、リチウムイオン電池が発熱、破裂、発火の原因になります。
	ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
	火の中に投入したり、ホットプレートなどで加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、保護機構を損傷するだけでなく、発熱、破裂、発火の原因になります。
	水、海水、ジュースなどの液体で濡らさないでください。リチウムイオン電池に組み込まれている保護回路が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
	釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形、保護機構が破損する可能性があり、発熱、破裂、発火の原因になります。
	高所からの落下など強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。リチウムイオン電池が変形したり、リチウムイオン電池に組み込まれている保護機構が壊れ、異常な電流、電圧でリチウムイオン電池が充電される可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。
	液漏れして目に入った場合は失明の恐れがありますので擦らずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
⚠ 警告	
	指定の電圧以外で使用しないでください。高い電圧が加えられることによって過大な電流が流れ、液漏れ、発熱、破裂、発火の原因となります。
	電子レンジや高压容器などに入れないでください。急に加熱されたり、密封状態が壊れたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。
	電池から液漏れしたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざけてください。液漏れした電解液に引火し、破裂、発火の原因になります。
	リチウムイオン電池は消耗品です。バッテリー動作の駆動時間が短くなった場合は寿命が考えられますのでご使用をおやめください。発熱、発火、破裂、液漏れの原因となります。交換する際は、お客様相談窓口までお問い合わせください。(株式会社デイトナ フリーダイヤル：0120-60-4955)

⚠ 注意

-  濡れたリチウムイオン電池は使用しないでください。故障、感電、発熱、発火の原因となります。
-  濡れた手でリチウムイオン電池を触らないでください。感電の原因となります。
-  通電中のリチウムイオン電池に長時間触れないでください。温度が上がり、低温やけどの原因となります。
-  リチウムイオン電池を直射日光の当る場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所で充電しないでください。(充電温度範囲: 0℃~+45℃) 高温になると危険を防止するための保護機構が働き、充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。
-  液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、怪我の原因となるため直ちに水で洗い流してください。また、機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

ご使用上のお願い

- ヘルメツトスピーカー等を使用し、ヘルメツト内で直接音声を聞く場合、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえず、状況判断の妨げになる可能性があります。周囲の音が十分に聞こえる音量でご使用ください。
※ 運転中の使用に関しましては、事前に使用する地域の条例等をご確認ください。使用する地域によっては、法令違反となる場合があります。
- 本製品の近くに他の GPS 機能を持つ製品を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- 衛星からの信号を受信できない下記のような場所では、本製品の GPS 機能が働かないため、GPS 機能による警報、表示、メモリー機能が正常に働きません。(トンネル・地下道・建物の中・ビルなどに囲まれた場所・鉄道や道路の高架下・木々の多い森の中など)
- 本製品の GPS 警報は、予め登録されたオービスや取締ポイントなどの GPS データ(位置情報)とお客様が任意で登録した位置のみ有効です。
- G システムのみでは、自転車位置を完全に検出することはできません。走行状況によっては警報できない場合があります。
- 電源を分岐して使用している場合や車のバッテリーが劣化している場合など、電流が足りず電源が不安定になり、本製品の電源が遮断されることがあります。

はじめに

- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS・レーダー波などの電波が受信できない場合があります。
- 本製品の受信機能は、製品仕様欄に記載されている周波数帯のみ有効です。
- 一部ナビゲーションシステム、車載用 BS チューナー、CS チューナー、地上デジタルチューナーや衛星放送受信機などの車載電子機器から本製品の受信できる周波数帯と同じ電波が出ている場合や、エンジンやHID ヘッドライト、LED ヘッドライトから発生するノイズと本製品が干渉した場合、本製品が警報を行うことがあります。
- 取締機と同一周波数のマイクロ波を使用した機器（下記）周辺で、本製品がレーダー警報を行うことがあります。誤作動ではありません。予めご了承ください。（自動ドア・防犯センサー・車両通過計測器・気象用レーダーの一部・航空用レーダーの一部、車線変更支援システムの一部）
- 本製品の制限速度データは、調査した時期以降に制限速度が変更されたなどの理由により、実際の制限速度と異なる場合があります。運転する際は、必ず実際の交通規制に従い走行してください。
- 本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データなどの補償に関しては一切の責任を負いかねます。
- microSD カード内へ本機以外のデータを保存しないでください。データ消失などによる付随的な損害に関して弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードの消耗に起因する故障または損傷については一切の責任を負いかねます。（microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります）
- 本製品にはお買い上げ日から 1 年間の保証がついています。（ただし、ヘルメットスピーカーや USB/DC 変換ケーブルなどの付属品は保証の対象となりません）
- 補修用部品や修理後の性能保証等の事情から修理対応ができない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※ 本製品を取付けての違法行為（スピード違反など）に関しては、製品動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

知っておきたいこと

● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● GLONASS とは

「GLObal'naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

本製品は、準天頂衛星「みちびき」に対応しています。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

● ひまわりとは

日本の運輸多目的衛星 (MTSAT) です。この衛星を利用した静止衛星型衛星航法補強システムからの信号を受信することで、GPS の誤差が補正できます。また、GPS 同様に測位衛星として使用することで、測位の信頼性が向上します。

● GAGAN とは

「GPS Aided GEO Augmented Navigation」の頭字語で、インドの静止衛星型衛星航法補強システムです。

● GPS レシーバーの警報システム

衛星からの電波を受信して現在位置・移動方向・移動速度を算出し、あらかじめ登録してある各データ (座標データなど) と比較演算し、接近すると警報を行います。

● 衛星受信までの時間について

本製品は「最速 GPS 測位」機能により、起動後すばやく GPS 衛星を測位する事ができます。ただし以下のような場合、「最速 GPS 測位」は機能しません。

- ・ 前回電源 OFF 後 72 時間以上経過した場合。
- ・ 前回電源 OFF 後、直線距離で 300km 以上離れた場所で電源を ON にした場合。
- ・ 前回電源 OFF した時と、次に電源 ON した時の GPS 衛星の状態が異なる場合。
- ・ 内部部品の劣化などにより、衛星の軌道情報が正常に保持できない場合。

● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。

● GPS の測定誤差について

本製品の GPS 機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

はじめに

● microSD カードについて

microSD カード内に本機以外のデータを入れると、正常に動作しなくなることがあります。

● 本製品の防水性能について

本製品は防水性能を備えています。下記の点にご注意頂き、ご使用ください。浸水による故障は保証対象外となります。

・本製品は JIS 保護等級 IPX7 相当の防水性能がありますが、激しい雨や洗車時は本製品を取外してください。

※本製品の防水性能については弊社試験方法によるものであり、すべての状態において無破損・無故障を保証するものではありません。

・付属品は防水仕様ではありません。

・イヤホンジャックおよび電源ジャック、microSD カードスロットのカバーにホコリやゴミ等の異物を挟み込まないようにしてください。わずかな異物でも浸水し、故障の原因となります。

・雨天時や濡れた手でイヤホンジャックおよび電源ジャック、microSD カードスロットのカバーの開け閉めを行わないでください。本体内に浸水し、故障の原因となります。

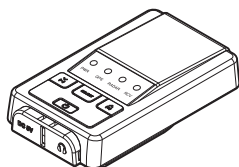
・イヤホンジャックおよび電源ジャック、microSD カードスロットのカバーはゴム製のため劣化します。防水性能を維持するために数年に一度交換することをおすすめします。(有料)

※イヤホン電源防水ゴムキャップは補修部品として販売しています。(⇒ P15)

梱包内容

以下の物が揃っているか確認してください。

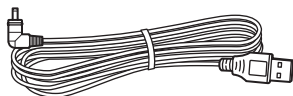
MOTO GPS RADAR EASY 本体



取扱説明書 (1冊)



USB/DC 変換ケーブル (1本)
(約 0.6m)



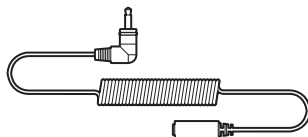
ヘルメットスピーカー (1本)
(約 0.2m)



ヘルメットスピーカー固定用
面ファスナー (1セット)



延長ケーブル (1本)
(最短: 約 0.4m / 最長: 約 1m)



アドバイス

本製品に microSD カードは付属していません。
GPS データ更新を行う際は、**16GB 以下**の microSD カード、
または microSDHC カードをご用意ください。

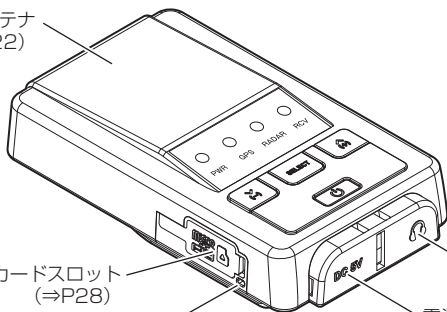


[16GB以下]

はじめに

本体各部名称

GPSアンテナ
(⇒P22)

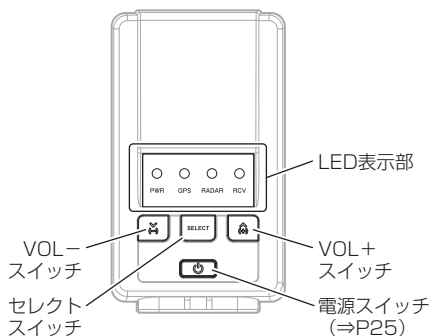


microSDカードスロット
(⇒P28)

ストラップホール
(⇒P21)

イヤホンジャック
(⇒P19)

電源ジャック
(⇒P17,24)

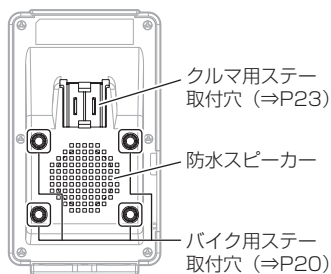


LED表示部

VOL-
スイッチ
セレクト
スイッチ

VOL+
スイッチ
電源スイッチ
(⇒P25)

■本体裏面



クルマ用ステー
取付穴 (⇒P23)

防水スピーカー

バイク用ステー
取付穴 (⇒P20)

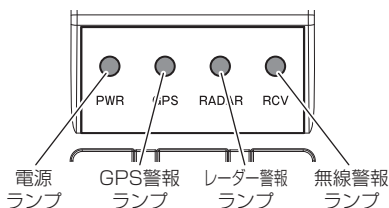
本体スイッチ操作一覧

項目	状態	スイッチ操作				備考
		電源 スイッチ	VOL- スイッチ	セレクト スイッチ	VOL+ スイッチ	
電源の ON/OFF	全状態	長押し	—	—	—	—
音量を上げる	全状態	—	—	—	短押し	—
音量を下げる	全状態	—	短押し	—	—	—
バッテリー残量の確認	待機中	短押し	—	—	—	バッテリー動作時
走行エリアを切替える	待機中	—	—	短押し	—	—
テスト機能 終了	待機中	—	長押し	—	長押し	同時に長押し
ミュート機能 解除	待機中 ミュート中	音量調整操作以外の全操作				—
ユーザーポイントの登録 解除	待機中 ユーザー ポイント警報中	—	長押し	—	—	—
誤警報地点の登録 解除	レーダー 警報中 キャンセル ミュート中	—	長押し	—	—	—
オービスポイントの キャンセル登録 解除	オービス 警報中 キャンセル ミュート中	—	長押し	—	—	—
パスメモリの登録	無線警報中	—	長押し	—	—	解除はオールリセットを行う
ディスプレイモードの設定 解除	起動時 ディスプレイ モード中	—	—	●	—	押しながら電源を入れる
オールリセット	起動時	—	●	—	●	押しながら電源を入れる
データ更新モードに入る	待機中	—	—	●	●	押しながら電源を入れる
データ更新実行	データ更新 モード中	—	—	短押し	—	—
設定操作						
GPS 設定モードに入る	待機中	—	—	長押し	—	—
無線設定 //	待機中	—	—	—	長押し	—
アラーム設定 //	待機中	—	短押し	—	短押し	同時に短押し
LSC 設定 //	待機中	—	短押し	短押し	—	同時に短押し
ASC 設定 //	待機中	—	—	短押し	短押し	同時に短押し
オートパワーオフ設定 //	起動時	—	●	●	●	押しながら電源を入れる
設定内容を切替える	各種 設定モード中	—	—	短押し	—	—
設定内容を決定する	各種 設定モード中	—	短押し	—	—	—

はじめに

LED 表示内容

■LED表示部



●待機時

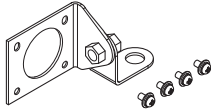
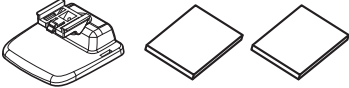
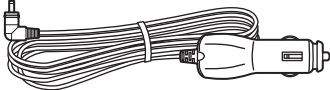
電源ランプ	各種設定変更時 (ボリューム変更時は青点灯)		青点滅
	GPS 衛星	未受信	青点滅
		受信	青点灯
	G システム作動時		青点滅
GPS 警報ランプ	ロードセレクト	オールモード*	橙点灯
		シティーモード	緑点灯
		ハイウェイモード	赤点灯
		オートモード*	走行状況に応じて 3色を切替えて点灯
レーダー警報ランプ	消灯 (設定変更時は各設定内容により、点灯・点滅)		
無線警報ランプ			

●警報時

電源ランプ	警報ミュート時またはキャンセル時は青 2 回点滅		
GPS 警報ランプ	GPS 警報時のみ	点滅 (距離や警報の種類により色は異なる)	
レーダー警報ランプ	レーダー警報時のみ	赤点滅	
無線警報ランプ	無線警報時のみ	点滅 (警報の種類により色は異なる)	

別売オプションおよび補修部品

別売オプション

<p>バイク用ステー [品番：78180]</p>	 <p>M10 タイプのミラーに取付けできるステーです。取付けビス（4本）付属。</p>	<p>¥1,400 (税抜)</p>
<p>クルマ用ステー [品番：78181]</p>	 <p>クルマに取付けることができるステーのセットです。粘着シート、両面テープ付属。</p>	<p>¥1,400 (税抜)</p>
<p>MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード [品番：94416]</p>	 <p>車両シガーソケット（12V）より電源を供給する際に使用します。 （ケーブル長：約 2.0m）</p>	<p>¥2,100 (税抜)</p>
<p>バイク専用電源 USB 1 ポート [品番：93039]</p>	<p>車両のバッテリーやアクセサリ電源に接続し、5V 2.1A 出力の USB 電源の取り出しができます。</p>	<p>¥2,200 (税抜)</p>
<p>バイク専用電源 シガーソケット 1 ポート [品番：93041]</p>	<p>車両のバッテリーやアクセサリ電源に接続し、12V 10A 出力のシガー電源の取り出しができます。</p>	<p>¥1,980 (税抜)</p>

補修部品

<p>ヘルメットスピーカー [品番：78178]</p>	<p>有線タイプのシングルスピーカーです。</p>	<p>¥1,500 (税抜)</p>
<p>延長カールコード [品番：78179]</p>	<p>ヘルメットスピーカーとレーダー本体を接続します。</p>	<p>¥950 (税抜)</p>
<p>USB/DC 変換ケーブル [品番：94417]</p>	<p>バッテリー充電の際に使用します。</p>	<p>¥800 (税抜)</p>
<p>イヤホン電源 防水ゴムキャップ [品番：94418]</p>	<p>イヤホン / 電源ジャックの防水ゴムキャップです。</p>	<p>¥550 (税抜)</p>

はじめに

ご使用の前に

ご使用前に必ず **十分な充電** を行なってください。

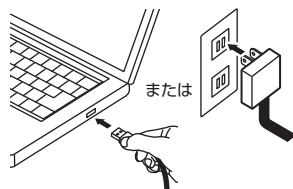
※ USB/DC 変換ケーブルや、別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコードを接続した状態で使用する場合はそのままご使用ください。

- 本製品の内蔵バッテリーにはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池は、特性上約 300 回程度は繰り返し充電が可能ですが、それ以降は徐々に性能が低下するため、駆動時間が通常の半分程度になった場合はバッテリーを交換する必要があります。
- 本製品は防水設計されているため、お客様での内蔵バッテリーの交換はできません。交換する際は、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口にご相談ください。
(株式会社デイトナ フリーダイヤル：0120-60-4955)
- 極端な高温、または低温の場所で使用・充電しないでください。また、長期間高温・直射日光にさらされる場所への設置は避けてください。その場合は、取り外して保管してください。
- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電のみされています。初めてご使用になる時や内蔵バッテリーが消耗した時は、十分に充電を行なってください。
- 内蔵バッテリーは長期間放置していると自然放電が進み過放電となり、バッテリーが劣化してしまいます。バッテリーを長持ちさせるために 3 ヶ月に 1 度、補充充電を行なってください。
- 本製品の充電には、DC5V 0.5A 以上出力可能な電源が必要です。
※約 4 時間で満充電になります。
- 本製品を充電しながら使用する場合は、0.5A 以上出力可能な電源が必要です。
- パソコンの USB ポートで充電する場合は、USB3.0 のポートを使用して充電することをおすすめします。
- 0.5A 以下の出力の電源を使用する場合、本製品の電源を OFF にして充電してください。
- 車両で充電する場合は、バッテリーあがりを防ぐため、エンジンをかけた状態での充電をおすすめします。
- 本製品の内蔵バッテリーでの動作時間は、満充電の状態で約 9 時間です。(使用状況や設定により異なります)
- 充電ケーブルは、付属の USB/DC 変換ケーブルと MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード以外は使用しないでください。

本体を充電する

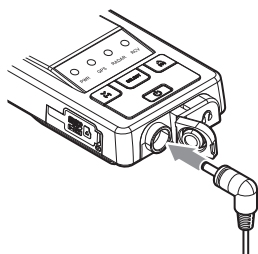
1. パソコンのUSBポートや市販のUSB/ACアダプターに、付属のUSB/DC変換ケーブルを接続します。

※ 市販のUSB/ACアダプターを使用する場合は、出力がDC 5V、0.5A以上の製品を使用してください。

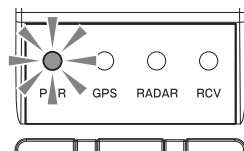


2. レーダー本体の電源ジャックにUSB/DC変換ケーブルを差し込み、充電を行なってください。

※ USB/DC変換ケーブルを差し込むと電源がONになります。電源スイッチを**長押し**して、電源をOFFにした状態で充電を行なってください。



3. レーダー本体の電源をOFFにした状態で充電を行うと、LED表示部が点灯します。充電が完了するとLEDが消灯します。



- ・充電ケーブルは、付属のUSB/DC変換ケーブルとMOTO GPS RADAR OPTION シガーコード以外は使用しないでください。
- ・内蔵バッテリー電圧が極端に低下した場合は、レーダー本体の電源をOFFにした状態で充電を行なってください。

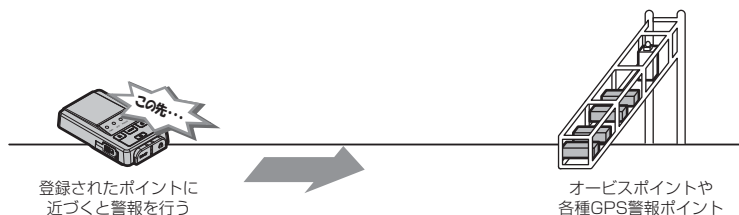
はじめに

警報時の動作

各警報の詳細は「警報について」(⇒P40)をご確認ください。

オービス / GPS 警報のしかた

本製品に登録されたオービスポイントや各種 GPS 警報ポイントに近づくと、LED とアナウンスでお知らせします。



レーダー警報のしかた

速度取締装置から発せられるレーダー波を受信すると、LED とアナウンスでお知らせします。



ステルス式の取締りの場合、至近距離でレーダー波を発射するため、受信できないことや警報が間に合わないことがあります。

無線警報のしかた

各種無線を受信すると、LED とアナウンスでお知らせします。



本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

ポケットに入れて使用する

本製品はバッテリーを内蔵しているため、ポケット等に入れて使用することができます。

⚠ 注意

- ・服の装飾品やプロテクターの材質、種類等によりGPSやレーダー波、無線の受信感度が低下する場合があります。
- ・クルマに乗って使用する場合、ポケットにレーダー本体を入れているとルーフに遮られ、GPSが受信できない場合があります。

ヘルメットスピーカーを使用する

付属のヘルメットスピーカーを使用することで、ヘルメットをかぶったままでも本製品の音声を聞くことができます。

1. ヘルメットの保護パットを外し、ヘルメットをかぶった時に耳の位置にくるように、ヘルメットスピーカーを付属の面ファスナーで固定します。

👉 アドバイス

内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、スピーカーを内装に組込むことで、より違和感が少なくなる場合があります。



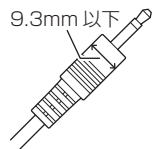
2. レーダー本体前面のカバーを開け、イヤホンジャックにヘルメットスピーカーのプラグを接続します。

⚠ 注意

- ・スピーカーケーブルと延長カールコードの接続ジャックは防水仕様ではありません。
- ・ケーブルが短い場合、市販のモノラル延長ケーブル等をお買い求めください。

※モノラルプラグ最外径が9.3mm以下の物をご使用ください。

※雨天走行時にはケーブルを外し、必ずカバーを閉じてください。故障の原因となります。



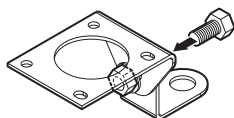
取付方法

バイクに取付ける

OP

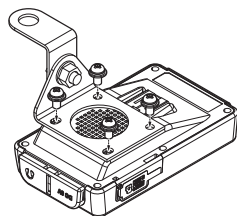
- 別売のバイク用ステー (⇒ P15) を使用することで、バイクに取付けることができます。
- 運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。
- 道路に対して垂直、レーダー受信部を進行方向に向けて取付けてください。

1. バイク用ステーを組み立てます。



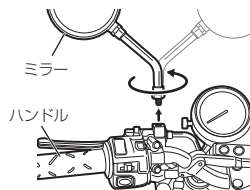
2. レーダー本体裏面にバイク用ステーを取付けます。

※ステーを固定するネジには、ネジ緩み止め接着剤を使用しないでください。本体プラスチック樹脂に浸透し、ケースが破損する可能性があります。



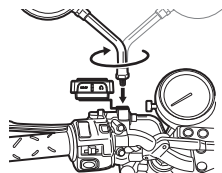
3. バイクのミラーを取外します。

※一部の車種では、ミラー取付けネジが逆ネジになっています。ネジの回転方向にご注意ください。



4. バイク用ステーをミラーでハンドルに固定します。

※レーダー本体後部が、進行方向を向くように固定してください。



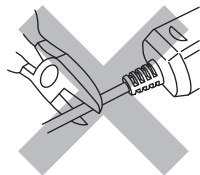
5. シガーソケットを装備している車両は別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード (⇒ P15) を接続して使用することができます。シガーソケットが無い車両は内蔵バッテリーでご使用頂くか、別売のバイク専用電源シガーソケット、またはバイク専用電源 USB (⇒ P15) を使用してください。

👉 アドバイス

- ・雨天走行時などは、イヤホンジャックおよび電源ジャック、microSD カードスロットのカバーは必ず閉じて使用してください。
- ・車種によってはバイク用ステーが使用できない場合があります。面ファスナーで車体へ貼付ける等、工夫して取付けてください。

⚠️ 警告

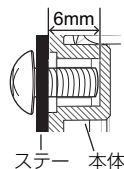
- ・本製品の電源電圧は DC5V のため、別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコードを切断して直接 DC12V 電源線に接続すると、故障や火災の原因となります。
- ・別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコードを使用して他の製品を接続しないでください。故障の原因となる恐れがあります。



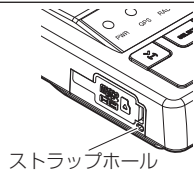
⚠️ 注意

- ・別売のバイク用ステーと本体を固定するネジは、バイク用ステーに付属するものをご使用ください。市販のネジを使用する場合は、M4 サイズで本体差込長さが 6mm 以下 のものをご使用ください。本体差込長さが 6mm を超えるネジは絶対 に使用しないでください。ケースが破損し、防水性能が損なわれるばかりでなく、内部基板を破損する恐れがあります。
- ・ステーを固定するネジには、ネジ緩み止め接着剤を使用しないでください。本体プラスチック樹脂に浸透し、ケースが破損する可能性があります。

※ステー取付部断面



- ・落下防止のため市販のストラップ等で落下防止を行うことをおすすめします。



取付方法

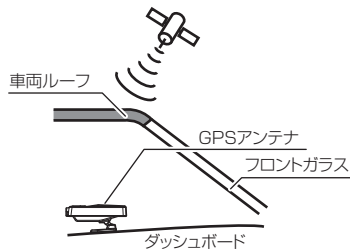
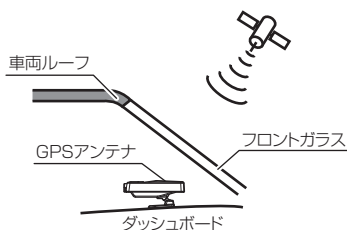
クルマに取付ける

OP

- 別売のクルマ用ステー (⇒ P15) を使用することで、クルマに取付けて使用できます。
- 運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグや運転支援システムなど）に影響のない場所に取付けてください。
- GPS アンテナ上方向、前方向に遮蔽物があると衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。

○ 障害物がないので電波の受信ができる

✕ 車両ルーフによって電波が受信できない



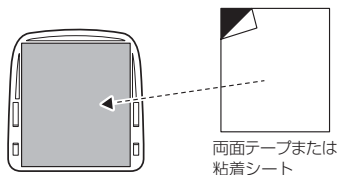
⚠ 警告

エアバッグの展開場所など、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。誤った場所への取付けは、事故の原因となります。

⚠ 注意

一部の運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼす恐れがあります。取付けの前に車両の取扱説明書をご確認ください。

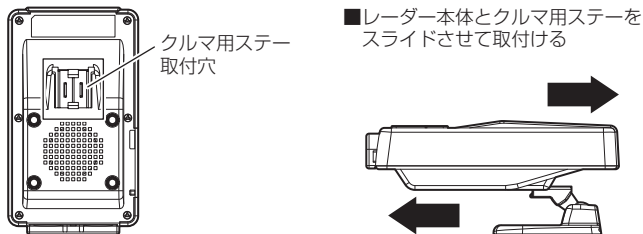
1. ステーに両面テープまたは粘着シートを貼付けます。



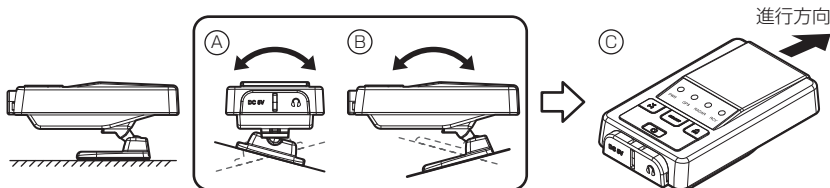
⚠ 粘着シート使用上の注意

- 粘着シートは汚れたり、ほこりがついたりして粘着力が弱まった場合、中性洗剤で洗うと粘着力が戻り、再度使用することができます。
- 粘着シートは、ダッシュボードの場所や材質によっては貼付きにくく、不安定になることがあります。そのような場合は両面テープを使用してください。
- ダッシュボードが変色したり、跡が残ったりすることがあります。あらかじめご了承ください。

2. レーダー本体底面のクルマ用ステー取付穴に、クルマ用ステーを差込み、「カチッ」と音がするまでスライドし取付けます。



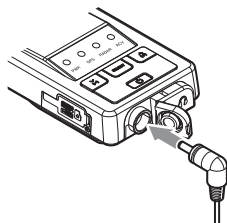
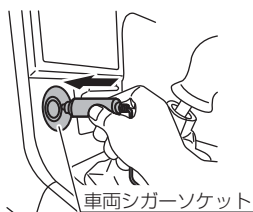
3. 濡れたタオルなどでダッシュボードを拭き、きれいにしてから固定します。固定後、レーダー本体を地面に対して水平で、またレーダー本体後部が車両の進行方向を向くように、下図(A)、(B)、(C)を参考に調整します。



取付方法

4. 車両シガーソケットと本製品を別売のMOTO GPS RADAR OPTION シガーコード (⇒ P15) で接続します。

※シガーソケットから脱着する際は、下図の通りにプラグ部を持ち、まっすぐ脱着してください。コード部を引っ張ったり回したりすると断線のおそれがあります。

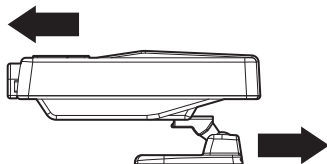
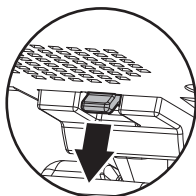


レーダー本体を取外す

ステア裏側のロックを外しながらレーダー本体をスライドさせて取外します。

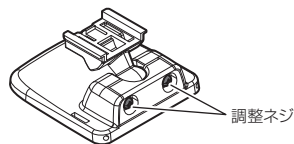
①ロックを外し、

②本体をスライドさせて取外す



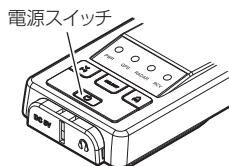
アドバイス

ステアのジョイントが緩んだ場合は、ステア背面の調整ネジをプラスドライバーで左右均等に少しずつ締めてください。



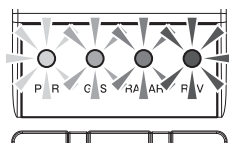
電源を ON にする

1. 本体の【電源スイッチ】を**長押し**します。
 ※ 付属の USB/DC 変換ケーブル、または別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード (⇒ P15) を使用して接続している場合、車両のキー ON と連動して本体の電源が入ります。



2. LED によるオープニング表示を確認します。

- ・ LED が全点灯した後、消灯します。
- ・ その後左から順に点灯、消灯します。
- ・ すべて消灯した後、全点滅を 2 回し、全点灯します。



3. 衛星の受信状態を確認します。

※数秒～数分かかる場合があります。

※受信アナウンスを行います。アナウンスを OFF に設定することはできません。

衛星の受信状態	電源ランプ	受信アナウンス
衛星受信時	点灯	ピンポン♪ 衛星を受信しました。
未受信時	点滅	チャラン♪ 衛星を受信できません。

アドバイス

自車位置検出の補完機能

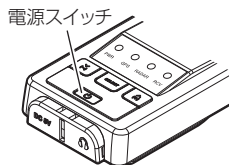
本製品は走行中に衛星の受信ができなくなった場合、「Gシステム」によって自車位置の検出を行います。Gシステム作動時は電源ランプが衛星未受信時より遅い速度で点滅します。

※ Gシステムのみでは、自車位置を完全に検出することはできません。

電源を OFF にする

本体の【電源スイッチ】を**長押し**することで、電源を切ることができます。

※ データ更新中は、【電源スイッチ】の操作は無効になります。



基本操作

内蔵バッテリーで使用する

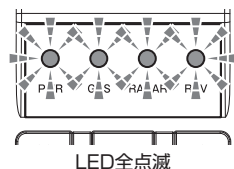
本製品はリチウムイオン電池を内蔵しているため、外部電源に接続しなくても使用することができます。

※ 内蔵バッテリーで使用する際は事前に充電を行なってください（⇒P16～17）

内蔵バッテリーでの動作時間は、満充電の状態です約 9 時間です。（使用状況や設定により異なります）

電源接続モードからバッテリー動作モードへの切替

- ・付属の USB/DC 変換ケーブル、または別売の MOTO GPS RADAR OPTION シガーコード（⇒P15）を接続して使用している場合は、車両のキーを OFF にした場合や、電源入力途切れた際に、LED が全点滅します。



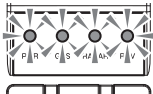
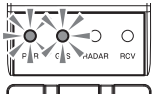
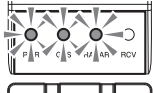
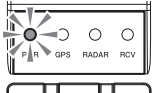
- ・LED が全点滅中に本体のいずれかのスイッチを短押しすることで、バッテリー動作モードに切替え、動作を継続します。
- ・何も操作を行わずに 10 秒間経過した場合は、電源を OFF にします。

バッテリー動作モードから電源接続モードへの切替

バッテリー動作モード中に電源の接続を行うと、再起動後に電源接続モードで動作します。

充電状態を確認する

バッテリー動作モード中に、本体の【電源スイッチ】を短押しすることで内蔵バッテリーの残量をLEDで確認できます。

アナウンス	表示画面	アナウンス	表示画面
効果音 バッテリーは 充分です。		効果音 バッテリーは 40%です。	
効果音 バッテリーは 60%です。		効果音 バッテリーは 20%です。	

バッテリーチェックアナウンス

バッテリー動作モードで使用中に、内蔵バッテリーの充電量が低下した際はアナウンスでお知らせします。

アナウンス	機能	内蔵バッテリー状態
効果音 バッテリーチェック GPS 機能を停止します。	GPS 受信機能を停止	バッテリー残量 20%以下
効果音 バッテリーチェック 充電を行なってください。	全受信機能を停止	バッテリー残量不足

※ GPS 受信機能を停止した場合、衛星の測位は行いません。

基本操作

microSD カードの抜き差し

⚠ microSD カードを抜き差しする際は、必ずリーダー本体の電源が OFF になっていることを確認してください。

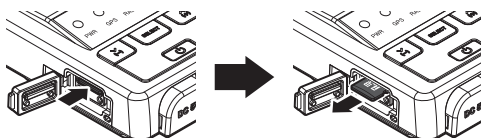
microSD カードを挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで軽く押し込んでください。また、取り出すときは、一度microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。

●挿入方法



microSDカードの端子部が本体底面を向くように挿入し、「カチッ」と音が鳴るまで軽く押しこんでください。

●取り出し方法



microSDHC カードを軽く押し込み、

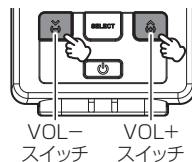
少し飛び出してきたら引き抜く。

👉 アドバイス

- ・雨天時や濡れた手で microSD カードスロットのカバーの開け閉めを行わないでください。本体内に浸水し、故障の原因となります。
- ・本製品は防水性を保つため、microSD カードが挿入された状態では microSD カードスロットのカバーが閉まらない構造になっています。データ更新時以外は microSD カードを抜き、microSD カードスロットのカバーが確実に閉じている事を確認した上でご使用ください。

音量を調整する

- ・音量を7段階（消音含む）から調整できます。
- ・待機中に【VOL -スイッチ】を押すことで音量が下がり、【VOL +スイッチ】を押すことで音量が上がります。
- ・本体スピーカーとイヤホンジャックの音量は連動して変化します。
- ・お買い上げ時は、音量が【6】に設定されています。



VOL- スイッチ VOL+ スイッチ

音量	0 (消音)	1、2	3、4	5、6
LED 表示				

テスト機能を使用する

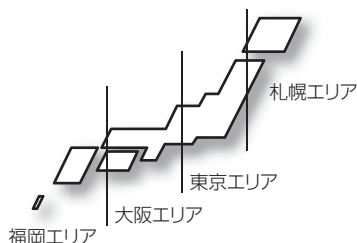
- ・警報時の音量を確認するための機能です。
- ・待機中に【VOL -スイッチ】【VOL +スイッチ】を**同時長押し**すると、レーダー本体からテスト音が鳴ります。

オートボリュームダウン機能

本製品は、オービス最接近警報（200m以下）してから約10秒後、またはレーダー受信警報してから約15秒後に、警報音の音量を自動的に小さくします。一度警報が解除されると、元の警報音の音量に戻ります。

オートディマー機能

- ・本製品は時刻によってLEDの明るさを自動的に切替えるオートディマー機能を採用しています。
- ・各エリアを中心とした時季（2～4月 / 5～7月 / 8～10月 / 11～1月）の日の出と日の入り時刻の統計を基に、輝度を自動的に切替えます。



便利な機能

ユーザーポイントを登録する

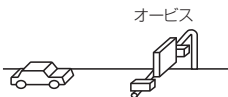
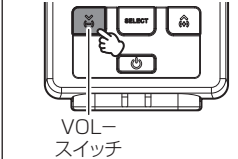
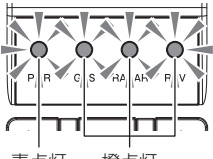


未登録、または新たに設置されたオービスポイントを任意に 100 件まで登録することができます。

警告

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

<p>①ポイントを登録したい地点で各種警報をしていないときに</p>	<p>②【VOL スイッチ】を長押しします。</p>	<p>③「チャラーン♪ユーザーポイント登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。</p>
		

登録時の走行エリアの設定	警報条件
オールモード	一般 / 高速道共通のポイントとして登録し、オール / ハイウェイ / シティーモード設定時に警報します。
シティーモード	一般道路上のポイントとして登録し、オール / シティーモード設定時に警報します。
ハイウェイモード	高速道路上のポイントとして登録し、オール / ハイウェイモード設定時に警報します。

解除方法

登録したポイントの警報中に、再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

アドバイス

登録ができない場合

下記の場合、ユーザーポイントは登録できません。

- ・各種警報時
- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 200m）に再度登録しようとした場合
- ・ユーザーポイントが 100 件登録済み

警報をキャンセルする

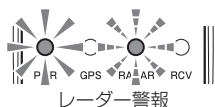
警報を一時的にキャンセルしたり、不要な警報をキャンセルポイントとして登録することで誤警報を低減し、警報の信頼度を高めることができます。

⚠ 警告

運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

一時的にキャンセルする（ミュート）

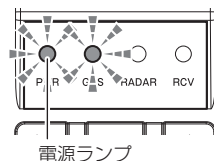
① 各種警報中に



② 【セレクトスイッチ】を短押する



③ 「ピッ」とブザー音が鳴り、電源ランプが点滅します。



便利な機能

解除方法

ミュート中に再度上記操作を行うことで、ミュート状態は解除されます。

👉 アドバイス

- ・ミュートされている間は、警報音 / アナウンスによる警報を行いません。
- ・下記の場合も電源ランプが点滅し、ミュートされます。
 - 誤警報の登録地点 (⇒ P32)
 - オービスポイントのキャンセル地点 (⇒ P33)
 - ASC 機能が作動中 (⇒ P64)
 - LSC 機能が作動中 (⇒ P66)
 - 誤警報キャンセルエリア走行中 (⇒ P54)

便利な機能



誤警報地点を登録する

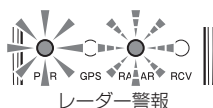
- ・自動ドアなど、レーダー波を受信してしまう場所をキャンセルポイントとして登録することで、半径約 300m 内のレーダー警報を消音します。
- ・最大登録件数は 50 件です。

⚠ 警告

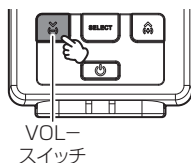
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

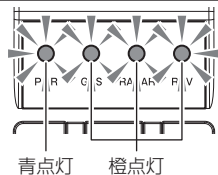
①レーダー警報中に



②【VOL スイッチ】を 長押しする



③「チャラーン♪レーダー キャンセルポイント登録 しました」とアナウンス されれば登録完了です。



解除方法

登録地点を走行中（ミュート中）に再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

👉 アドバイス

登録ができない場合

下記の場合、キャンセルポイントは登録できません。

- ・衛星未受信時
- ・一度登録した場所（登録場所から半径約 300m）に再度登録しようとした場合
- ・キャンセルポイントが 50 件登録済み



オービスポイントをキャンセル登録する

- ・お買い上げ時から GPS データに登録してあるオービスポイントや N システムポイントをキャンセルポイントとして登録することで、該当ポイントの警報を 1 地点単位で消音します。
- ・最大登録件数は 30 件です。
- ・同時にレーダー波もキャンセルされます。

⚠ 警告

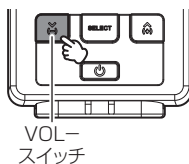
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

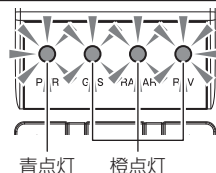
①オービス警報中に



②【VOL スイッチ】を長押しする



③「チャラン♪」警報 キャンセルポイント登録 しました」とアナウンス されれば登録完了です。



便利な機能

解除方法

登録地点を走行中（ミュート中）に再度上記操作を行うことで登録が解除されます。

👉 アドバイス

登録ができない場合

ポイント登録件数が 30 件登録済みの場合、キャンセルポイントは登録できません。

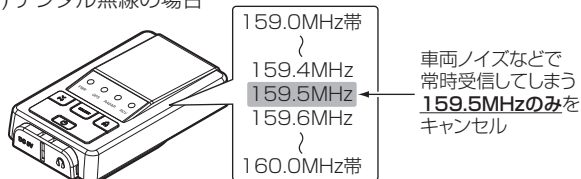
便利な機能

無線警報をキャンセル登録する (パスメモリ)

車両ノイズや一部地域など一定周波数のみを受信したままの状態が続く場合に、対象の周波数を登録し、受信対象から外すことができます。

※ カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は設定(登録)できません。

(例) デジタル無線の場合



※キャンセルした159.5MHz以外の159.0~159.4MHz、159.6~160MHzを受信するとキャンセルされずに警報を行います。

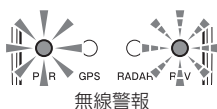
※無線警報設定(⇒P70)でOFFに設定されている警報は、キャンセル登録に関係なく警報しません。

警告

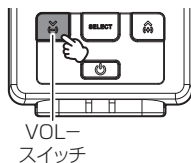
運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。

登録方法

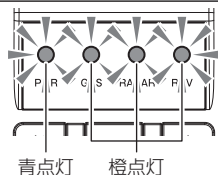
①無線警報中に



②【VOL-スイッチ】を長押しする



③「チャーン」パスメモリを登録しました」とアナウンスされれば登録完了です。



解除方法

レーダー本体をオールリセットすることで、登録が解除できます。ただし、その他の設定した内容も全てお買い上げ時の状態になります。(⇒P74)

アドバイス

登録ができない場合

カーロケ・350.1MHz 無線・警備無線は登録できません。

GPS データを更新する

- ・本製品の GPS データ (GPS ポイントデータ) 最新バージョンへの更新ができます。
 - ・調査地点以外にもオービス・N システムが設置されている可能性があります。お車を運転するときは安全のため、必ず法定速度内で走行してください。
- ※ ダウンロードのサイトは、予告なく変更・中止される場合があります。

パソコンからダウンロードする (microSD カードへの書き込み)

◆必要な物

- ・パソコン (対応 OS : Windows10 / 8.1 / 7 / Vista)
- ・市販の microSD カード、または microSDHC カード (16GB 以下)
- ・microSDHC 対応カードリーダー / ライター

◆更新方法

下記 2 通りの方法でデータの書き込みができます。

方法① ワンクリック DL App を使用する

コムテックホームページ (<http://www.e-comtec.co.jp>) よりダウンロードできる『ワンクリック DL App』をインストールすることで、カンタンに GPS データをダウンロードし、microSD カードに書き込むことができます。



方法② microSD カードに直接書き込む

『ワンクリック DL App』をインストールできない、または動作しない場合は、コムテックホームページよりデータをダウンロードし、microSD カードにデータを直接書き込んでください。



👉 アドバイス

上記のダウンロードできる環境をお持ちでないお客様は、本製品を直接コムテックサービスセンターまでお送りください。

〒 470-0206

住所 愛知県みよし市筋生町下石田 60 番

電話 0561-36-5654

株式会社 コムテック サービスセンター データ更新係 迄

- ・お預かりでのデータ更新に関しましては**有料**となります。
- ・製品の修理対応が終了している場合は、お預かりでのデータ更新を行う事ができません。あらかじめご了承ください。

便利な機能

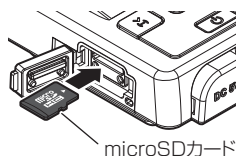
レーダー本体をアップデートする

最新のGPSデータをダウンロードしたmicroSDカードをレーダー本体に読み込ませることで、GPSデータの更新ができます。

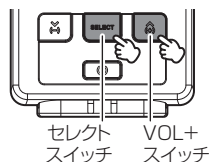
⚠ microSDカードを抜き差しする際は、必ずレーダー本体の電源がOFFになっていることを確認してください。

操作方法

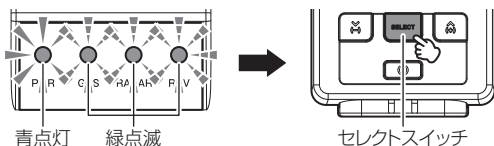
1. レーダー本体のmicroSDカードスロットに、microSDカードを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(⇒P28)



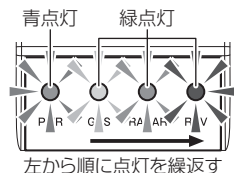
2. 【セレクトスイッチ】と【VOL+スイッチ】を同時に押しながら、レーダー本体の電源を入れます。(⇒P25)



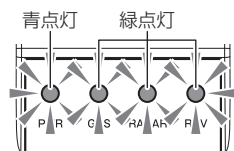
3. 電源ランプ以外のLEDが緑点滅し、データ更新モードに移行したことを確認したら、【セレクトスイッチ】を短押しします。



4. 電源ランプ以外のLEDが左から順に緑点灯しデータ更新を開始します。



5. 全てのLEDが点灯に変わり、自動的に再起動します。



6. レーダー本体が正常に起動したら、データ更新は完了です。

エラー表示一覧

LED 表示	エラー内容	対処方法
<p>青点灯 赤点滅</p> 	<p>アップデートに失敗した場合に表示されます。</p> <p>正常にアップデートされるまで本製品は再起動後もデータ更新モードから切替わりません。</p>	<p>再起動後、GPS データのアップデートを行なってください。</p>
<p>青点滅 赤点滅</p> 	<p>電源起動時、GPS データの異常を検知した場合に表示されます。</p>	<p>エラー表示の後に、データ更新モードに移行するので、再度 GPS データのアップデートを行なってください。</p>
<p>青点灯 赤点灯</p> 	<p>microSD カード内に有効な GPS データが保存されていない場合に表示されます。</p>	<p>再度、パソコンから GPS データを microSD カードにコピーしてください。</p>
<p>青点灯 橙点灯</p> 	<p>microSD カードが挿入されていない場合に表示されます。</p>	<p>microSD カードの挿入を確認してください。</p>
<p>青点灯 橙点滅</p> 	<p>バッテリー残量が不足している場合に表示されます。</p>	<p>電源に接続するか、充電を行なってください。</p>

⚠ 注意

- ・ microSD カードの抜き差しは、必ず本体の電源を OFF にして行ってください。
- ・ microSD カードを無理に抜き差しすると、microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。
- ・ microSD カード以外のものを挿入しないでください。レーダー本体が破損することがあります。
- ・ アップデート中は、microSD カードを抜いたり、電源スイッチを切ったりしないでください。microSD カードやレーダー本体が破損することがあります。ただし、アップデートが開始されなかったり、途中で停止した場合は再起動を行い、再度アップデートを行なってください。

便利な機能

アナウンス機能 ※ OFF にすることはできません。

お知らせ機能

電源 ON 時のあいさつアナウンスや、衛星受信・未受信時のアナウンスなどを行います。

状態	アナウンス内容
衛星受信	衛星を受信しました。
衛星未受信	衛星を受信できません。
起動後、2 時間経過	運転時間が 2 時間になりました。 そろそろ休憩してください。
走行エリアの切替えアナウンス (オートモード設定時)	(ハイウェイ / シティ / オール) モードに切替えます。
あいさつアナウンス	※下記表参照

・電源 ON 時のあいさつアナウンスは起動時刻により切替わります。

起動時刻	アナウンス内容
4:00 ~ 9:59	おはようございます。
10:00 ~ 17:59	こんにちは。
18:00 ~ 3:59	こんばんは。

時報機能

時報を「チャイム」+「ボイス」で行います。

セーフモード

下記セーフティーウィーク期間中に起動すると、GPS 警報ランプが赤点減し、音声アナウンスを行います。

セーフティーウィーク	期間 (※)	アナウンス内容
春の交通安全運動期間	4月6日～4月15日 ※統一地方選挙のある年は 5月11日～5月20日 に変更となります。	春の交通安全運動期間です。
秋の交通安全運動期間	9月21日～9月30日	秋の交通安全運動期間です。
年末年始取締強化運動期間	12月15日～1月5日	年末年始取締強化運動期間です。

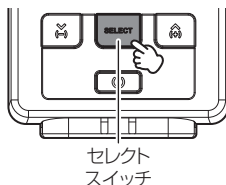
※ 交通安全運動期間は原則として上記期間ですが、都合により変更となる場合があります。

走行エリアを選ぶ

GPS 警報を行う道路を【オールモード】【シティーモード】【ハイウェイモード】【オートモード】から選択することができます。

設定方法

待機中に【セレクトスイッチ】を短押しすることで設定が切替わります。



設定	LED 表示	GPS 警報を行う道路
オールモード	青点滅 橙点灯 	一般道路／高速道路
シティーモード	青点滅 緑点灯 	一般道路のみ
ハイウェイモード	青点滅 赤点灯 	高速道路のみ
オートモード (初期設定)	青点滅 3色を順に表示 	オールモード、シティーモード、 ハイウェイモードを自動で切替える

※ シティーモード設定中、走行速度が 80km/h を超えたり、ハイウェイモード設定中、車が停車状態になると、「モード確認をしてください」とアナウンスします。

アドバイス

オートモードに設定した場合、自車の走行速度と GPS のデータを基に「オールモード」、「シティーモード」、「ハイウェイモード」を自動的に切替えます。そのため、下記のような場合、実際の走行道路と設定が異なり、GPS 警報を行わない事があります。

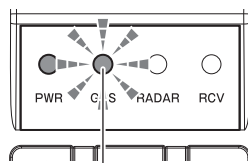
- ・高速道路走行中に渋滞等により低速走行をしている場合。
- ・高速道路から速度を落とさずに一般道路に合流する場合。
- ・一般道路と高速道路が並行している場合。

警報について

オービス / GPS 警報

オービス / GPS 警報時の LED 表示

本製品は GPS 機能を利用し、登録された警報ポイントに近づくと、GPS 警報ランプの色および 4 種類の点滅速度による表示と、アナウンスでお知らせします。



GPS 警報ランプ

警報種類			LED 色	点滅速度
オービス / ユーザーポイント	約 2km 地点		赤点滅	やや早い
	約 1km 地点			
	約 500m 地点			
	接近			早い
W オービス	取締ポイント		赤点滅	やや早い
白バイ警戒エリア	速度監視路線			
N システム	信号無視取締機 ポイント	過積載取締機 ポイント	橙点滅	やや遅い
警察署エリア	交番エリア	高速警察隊 エリア		
事故多発 ポイント	急カーブ ポイント	分岐・合流 ポイント		
駐車監視 エリア	逆走お知らせ ポイント	消防署エリア		
踏切ポイント	ゾーン 30	冠水エリア		
ラウンド アバウト	ヒヤリハット 地点			
SA/PA/HO	道の駅 ポイント	海の駅 ポイント	緑点滅	遅い
トンネル ポイント	スクール エリア	県境ポイント		
冠水エリア	ラウンド アバウト	ハイウェイラジオ 受信エリア		
取締ポイント回避			赤点滅	遅い

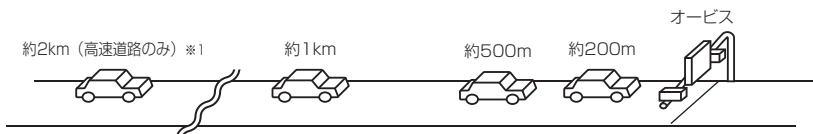
オービス / ユーザーポイント警報

オービス / ユーザーポイントに接近した場合、下記の位置で警報を行います。

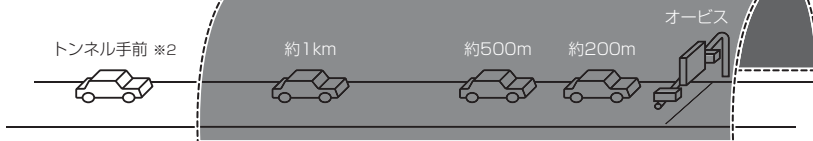
※ 対向車線上のオービスへの警報は行いません。

■警報を行う距離

●一般道 / 高速道



●トンネル内



●トンネル出口オービス



※ 1. 警報を行う距離は、対象とするオービスからの直線距離です。道路の高低差、カーブの大きさなどによっては実際の走行距離と異なる場合があります。また、オービスの設置された道路の側道など、警報対象近くの平行する道路を走行中にも警報を行う場合があります。

ユーザーポイント警報は、走行エリアの設定が『ハイウェイモード』の状態に登録した場合にアナウンスを行います。

※ 2. トンネル入口から 1km 以上先にオービスがある場合のみ警報します。

警報について

音声アナウンス内容

速度や道路種類などによりアナウンスの内容が変わります。

■オービス / ユーザーポイント警報

	距離	道路種	カメラ位置	警報対象	速度 / 到達時間 / 制限速度
2km	2キロ先 (※ 1)	高速道	—	ループコイル ループコイル式 オービスシステム	時速は約 (※ 2) キロ、 ・ 到達時間アナウンス (※ 3) ・ 制限速度アナウンス
1km	1キロ先	・ 高速道 ・ 一般道	—	LHシステム Hシステム レーダー	・ 走行速度アナウンス (※ 4) ・ 制限速度アナウンス
500m	この先	・ 高速道 ・ 一般道	・ 左側 ・ 正面 ・ 右側 (※ 5)	移動式小型オービス ユーザーポイント があります。	—

※ 1. 2キロは高速道路のみアナウンスします。

※ 2. アナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位 (四捨五入) でアナウンスします。
190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。

※ 3. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。
・ 到達時間アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『到達時間は〇〇秒以内です』とアナウンスします。
・ 制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

※ 4. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。
・ 走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『時速は約 (※ 2) キロです』とアナウンスします。
・ 制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

※ 5. ユーザーポイント警報の際はカメラ位置のアナウンスは行いません。

■トンネル内 / トンネル出口オービス警報

※ トンネル出口オービス警報はトンネル手前での警報のみとなります。

	距離	道路種	場所	カメラ位置	警報対象	速度 / 制限速度
トンネル手前	—	・高速道 ・一般道	・トンネル内 ・トンネル出口	—	ループコイル ループコイル式 オービスシステム	・走行速度アナウンス (※ 1) ・制限速度アナウンス (※ 1)
1km	1キロ 先	・高速道 ・一般道	トンネル内	—	LHシステム Hシステム レーダー	制限速度アナウンス (※ 2)
500m	この先	・高速道 ・一般道	トンネル内	・左側 ・正面 ・右側	移動式小型オービス があります。	—

※ 1. 制限速度データの有無と走行状態によってアナウンス内容が切り替わります。

・走行速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度内で走行している場合、または制限速度データがない場合は、『時速は約 (※ 2) キロです』とアナウンスします。

走行速度はアナウンスを始めた時の速度を 10km/h 単位 (四捨五入) でアナウンスします。190km/h 以上は「190 キロ以上です」とアナウンスします。

・制限速度アナウンス …… 制限速度データがあり、制限速度を超えて走行している場合は、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

※ 2. 制限速度データがある場合のみ、『制限速度は〇〇キロです』とアナウンスします。

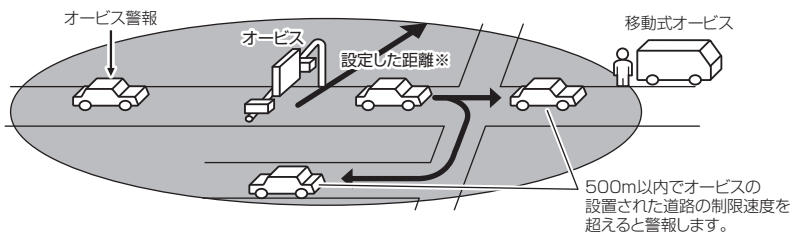
Gシステム (⇒ P25) のみでは、自車位置を完全に検出することができません。そのため走行状況によっては、実際のオービスまでの距離と警報を行う距離が異なったり、警報を行わない場合があります。あらかじめご了承ください。

警報について



W オービス

- ・一般道路上のオービスポイントを通過後、500m 以内でオービスの設置された道路の制限速度以上で走行するとお知らせします。



アナウンス

効果音 この先 ダブルオービスにご注意ください。

アドバイス

- ・500m 以内で信号などにより停止（5km/h 以下）した場合、再度オービスの設置された道路の制限速度を超えると3回まで警報します。
- ・オービス警報キャンセルポイントに設定されているオービスポイントでは、ダブルオービス警報もキャンセルされます。
- ・オービス通過後、500m 以内であれば車両の進行方向にかかわらず、オービスの設置された道路の制限速度を超えた時にダブルオービスの警報を行います。



速度監視路線

オービスが設置された路線であることを、オービスポイントの手前 3km 地点でお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 速度監視路線です。

※ 走行エリア（⇒ P39）がシティーモード以外の時に有効です。

アドバイス

トンネルや分岐、合流により、設定した距離の前後で案内する場合があります。



取締ポイント

過去に検問や取締りの事例があるポイントが予め本機に登録しており、取締ポイントに接近すると約200m～1kmの間で注意をお知らせし、ポイントから離れた時に回避をお知らせします。

《速度 / 検問 / 交通取締り》

[速度取締り].....ネズミ捕りなどの取締り

[検問取締り].....飲酒 / シートベルト / 携帯電話などの取締り

[交通取締り].....一時停止無視や信号無視などの取締りポイント

[その他取締り].....上記以外の取締りを行なっているポイント

[重点取締り].....上記取締ポイントが2つ重なっている場合に警報

[最重点取締り].....上記取締ポイントが3つ以上重なっている場合に警報

※ 高速道路上の取締ポイントはその他取締りとして警報を行います。

取締種類	アナウンス
速度 / 検問 / 交通	効果音 この先 一般道 [速度 / 検問 / 交通] 取締りにご注意ください。
重点 / 最重点	効果音 この先 一般道 [重点 / 最重点] 取締ポイントがあります。 ご注意ください。
その他	効果音 この先 (<small>高速道</small> / <small>一般道</small>) 取締りにご注意ください。
回避	効果音 [速度 / 検問 / 交通 / 重点 / 最重点] (※) 取締りを回避しました。

※ その他取締り警報時は種別のアナウンスを行いません。

👉 アドバイス

取締ポイントの回避警報は他の警報と重なった場合、他の警報が優先され、回避警報を行わない場合があります。

警報について



信号無視取締機ポイント

- ・信号無視取締機が設置されている交差点で、信号を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている信号無視取締機ポイントに接近すると約 200m ~ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 一般道信号無視取締機にご注意ください。

※ 走行エリア (⇒ P39) がハイウェイモード以外の時に有効です。



過積載取締機ポイント

- ・過積載取締機が設置されている路線で、車両の積載量を無視して走行した違反車両の様子が撮影・記録されます。
- ・本機に登録されている過積載取締機ポイントに接近すると約 200m ~ 600m の間で注意をお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 (高速道 一般道) 過積載取締機にご注意ください。



警察署エリア

本機に登録されている警察署付近に接近 (約 300m) するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 警察署があります。

※ 走行エリア (⇒ P39) がハイウェイモード以外の時に有効です。



白バイ警戒エリア

本機に登録されている白バイ警戒エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

状況	アナウンス
通常	効果音 この先 白バイ取締りにご注意ください。
重点	効果音 この付近 白バイ重点警戒エリアです。取締りにご注意ください。

👉 アドバイス

- ・白バイ重点警戒エリアは白バイ警戒エリア警報を行なったあと、一定の無線を受信した際に警報を行います。
- ・LSC 機能（⇒ P66）の設定が【ON】で LSC 機能が作動中の場合、白バイ警戒エリアの警報音は LSC 機能によってミュートされますが、白バイ重点警戒エリアの警報は無線による警報のため、ミュートされません。
※ LSC 機能の設定が【ALL ON】で LSC 作動中の場合は、白バイ警戒エリア、白バイ重点警戒エリアともに警報音がミュートされます。

交番エリア



本機に登録されている交番付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス
効果音 この付近 交番があります。

※ 走行エリア（⇒ P39）がハイウェイモード以外の時に有効です。

警報について



高速道路交通警察隊エリア

本機に登録されている高速道路交通警察隊エリアに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 高速道路交通警察隊エリアです。



事故ポイント

本機に登録されている事故多発ポイントに接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先（高速道
一般道）事故多発地点です。



ヒヤリハット地点

本機に登録されているヒヤリハット地点に接近（約 1km）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 ヒヤリハット地点です。
安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア（⇒ P39）がシティーモード以外の時に有効です。

アドバイス

高速道路上の事故が発生しやすい箇所や、運転に注意すべき箇所をヒヤリハット地点として登録しています。



急カーブ

本機に登録されている急カーブ付近に接近（約 300m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道（※1）急カーブです。

- ※ 走行エリア（⇒ P39）がシティーモード以外の時に有効です。
- ※ 1. カーブの状況に応じて、右、左、連続のいずれかをアナウンスします。

- 全ての急カーブポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



トンネルポイント

本機に登録されているトンネル付近に接近（約 1km）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道（※1）トンネルがあります。

- ※ 走行エリア（⇒ P39）がシティーモード以外の時に有効です。
- ※ 1. トンネルの状況に応じて、長い、連続するのいずれかをアナウンスします。

- 全てのトンネルポイントで警報するわけではありません。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。

警報について



逆走お知らせ

全国の高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスで停車した時や、入口から本線に合流しようとするとお知らせします。

アナウンス

効果音 逆走注意 進行方向をご確認ください。

※ 走行エリア (⇒ P39) および LSC の設定 (⇒ P66) に関わらず、警報を行います。

《出入口が別方向の場合》

サービスエリアなどで停車後、20km/h 以上でサービスエリアなどの入口に向かって走行（逆走）すると警報を行います。逆走お知らせポイントから離れるまで警報画面の表示を続けます。

《出入口が同じ方向の場合》

サービスエリアなどで停車した時に警報を行います。

その後発進し、20km/h 以上になった場合に、再度警報を行います。

逆走お知らせ警報とオービス警報が重なる場所ではオービス警報が優先されるため、逆走お知らせ警報を行いません。ご注意ください。



N システム / NH システム

N システム / NH システムポイントに接近するとお知らせします。

※ 対向車線上の N システム / NH システムへの警報は行いません。

※ 本製品は、NH システムを N システムとして警報を行います。



アナウンス

効果音 この先 (高速道 / 一般道) N システムがあります。

警報を行う距離は、対象とする N システム / NH システムからの直線距離です。道路の高低差やカーブの大きさなどによっては、実際の走行距離と異なる場合があります。



ハイウェイラジオ

ハイウェイラジオ受信可能エリアに接近するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 ハイウェイラジオ受信エリアです。

※ 走行エリア (⇒ P39) がシティーモード以外の時に有効です。

SA/PA/HO



高速道路にあるサービスエリア、パーキングエリアやハイウェイオアシスに接近 (約 2km) するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道
[サービスエリア/パーキングエリア/ハイウェイオアシス] があります。

※ 走行エリア (⇒ P39) がシティーモード以外の時に有効です。

道の駅 / 海の駅



本機に登録されている道の駅、海の駅付近に接近 (約 1 km) するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 一般道 [道の駅/海の駅] があります

※ 走行エリア (⇒ P39) がハイウェイモード以外の時に有効です。

県境



県境付近に接近 (約 1 km) すると、都道府県をお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 (※ 1) です。

※ 1. 都道府県をアナウンスします。

全ての県境で警報するわけではありません。また、山間部やトンネル出口付近など、衛星の受信が不安定な場所では警報しない場合があります。

警報について



分岐 / 合流

本機に登録されている分岐合流付近に接近(約 500m)すると、お知らせします。

アナウンス

効果音 この先 高速道 [分岐 / 合流] があります。

※ 走行エリア (⇒ P39) がシティーモード以外の時に有効です。

- 全ての分岐合流ポイントで警報するわけではありません。また、SA・PA・HO・インターチェンジからの分岐合流も警報を行いません。
- ジャンクションの形状によっては一つの分岐・合流ポイントで複数回警報することがあります。
- 高速道路の側道（一般道路）を走行中に、その付近の登録ポイントを警報することがあります。



駐車監視エリア

各警察より発表される「最重点地域」、「重点地域」を基に、駐車監視エリアが登録されています。監視エリア付近に接近するとお知らせします。

アナウンス

効果音 駐車監視エリアです。

※ 走行エリア (⇒ P39) がハイウェイモード以外の時に有効です。

- 全ての駐車監視エリアで警報するわけではありません。
- 衛星の受信状況により実際の駐車監視エリアと異なる場所で警報することがあります。



消防署エリア

本機に登録されている消防署付近に接近(約 300m)するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 消防署があります。

※ 走行エリア (⇒ P39) がハイウェイモード以外の時に有効です。



ゾーン 30

各警察より発表されるゾーン 30 が登録されています。ゾーン 30 付近に接近するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 ゾーン 30 です。安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア (⇒ P39) がハイウェイモード以外の時に有効です。

- 全てのゾーン 30 で警報するわけではありません。
- 衛星の受信状況により実際のゾーン 30 と異なる場所で警報することがあります。

👉 アドバイス

ゾーン 30 とは

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速 30 キロの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。

スクールエリア



本機に登録されている幼稚園 / 保育園、小学校、中学校、高校付近に接近 (約 200m) するとお知らせします。

※月曜日から金曜日の 7:00 ~ 9:00、12:00 ~ 18:00 のみ警報を行います。

アナウンス

効果音 この付近 スクールエリアです。安全運転を心がけましょう。

※ 走行エリア (⇒ P39) がハイウェイモード以外の時に有効です。

警報について



踏切ポイント

本機に登録されている踏切付近に接近（約 200m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 踏切があります。

※ 走行エリア（⇒ P39）がハイウェイモード以外の時に有効です。



冠水エリア

本機に登録されている冠水エリア付近に接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この先 冠水エリアがあります。

※ 走行エリア（⇒ P39）がハイウェイモード以外の時に有効です。



ラウンドアバウト

本機に登録されているラウンドアバウトに接近（約 100m）するとお知らせします。

アナウンス

効果音 この付近 ラウンドアバウトがあります。 進行方向をご確認ください。

※ 走行エリア（⇒ P39）がハイウェイモード以外の時に有効です。

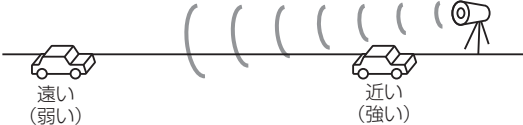
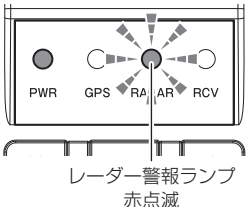



誤警報キャンセルエリア

レーダー波の誤警報を行う地点をあらかじめ本機に登録しており、誤警報キャンセルエリア内でレーダー波を受信した際に、自動的にミュートを行う機能です。

レーダー警報

- ・レーダー波、ステルス波を受信した場合、レーダー受信感度設定（⇒ P64）の受信感度と、取締機までの距離により下記表のように警報を行います。
- ・ステルス波は、至近距離で非常に強いレーダー波を照射するため、ASCの設定に関わらずアラーム音で警報を行います。

レーダー波受信時	レーダー式取締機までの距離（電波の強さ）			
	レーダー警報ランプ表示			
	点滅速度		遅い  早い	
	アラーム音	受信感度	LOW	アラーム音が鳴らない ※警報表示は行います。
HI				
S-HI			アラーム音が鳴る	
HYPER				
ステルス波受信時	レーダー警報ランプ表示		早い赤点滅	
	アラーム音		ピコッピコッピコッ・・・ アラーム音が鳴ります。	

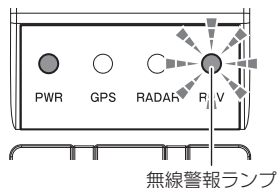
※ レーダー警報中でも GPS 警報、無線警報を優先します。

警報について

無線警報

無線警報表示について

各種無線を受信すると、無線警報ランプの色および4種類の点滅速度による表示と、アナウンスでお知らせします。

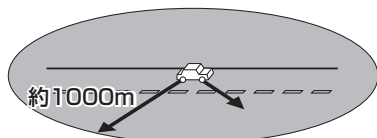


警報種類	LED色	受信レベル	点滅速度
カーロケ／350.1MHz／ デジタル／署活系／ワイド／ 取締特小／警察活動／ 警察ヘリテレ	赤点滅	弱い (遠い) ※ 1	やや早い
		強い (近い・接近) ※ 1	早い
パトロールエリア	橙点滅	—	早い
新救急／消防ヘリテレ／消防	橙点滅	—	やや遅い
レッカー／高速管理車両／ 警備／タクシー	緑点滅	—	遅い
カーロケ回避	赤点滅	—	遅い

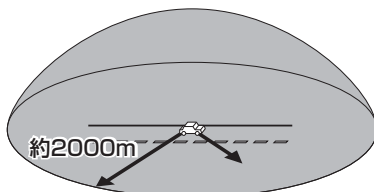
※ 1 カーロケ、デジタル、ワイド無線のみ遠近識別警報を行います。

受信範囲

下図の受信感度（距離）は直線見通し距離で、間に障害物が無い状態での受信距離目安です。



カーロケ、350.1MHz、デジタル、署活系、ワイド、
取締特小、レッカー、新救急、消防、高速管理車両、
警察活動、警備、タクシーの各無線



警察/消防ヘリテレ無線

⚠ 注意

- 放送局や無線中継局の近くを通過する時、強い電波の影響により誤作動する場合があります。また、VHF帯の放送局の近くを通過する場合は、デジタル無線の受信をすることがあります。
- 使用状況、走行状態、製品取付位置、周囲の環境（電波状況）によって受信感度（距離）が短くなる場合があります。

警報について

カーロケ無線（カー・ロケーター・システム）

緊急車両に装備された GPS 受信機より算出された位置データを、各本部の車両管理センターへ定期的に送信する無線です。本製品は緊急車両からの電波を受信し、音声で警報を行い緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音 カーロケ無線を受信しました。
近い	効果音 カーロケ無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 カーロケ無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。
回避	効果音 カーロケ無線を回避しました。

注意

- ・カー・ロケーター・システムは間欠で送信されるため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両は走行状態（緊急走行、通常走行、駐車中）によって、電波の送信時間が変化するため、実際の緊急車両の接近と受信のタイミングにズレが生じることがあります。
- ・緊急車両がエンジン停止時は電波の送信を行わないため、本製品での受信はできません。

- ※ カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合カーロケーター無線を受信できません。
- ※ カーロケーターシステムは全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信できる地域であっても、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますのであらかじめご了承ください。また、新システムが導入された地域ではカーロケーター無線の警報ができません。

350.1MHz 無線（取締用連絡無線）

取締用連絡無線で使用する周波数帯で、速度違反取締りやシートベルト装着義務違反取締りなどで使用することがあります。また、通話内容をコード化したデジタル無線方式を使用するケースもあり、音声受信ができない場合もあります。



アナウンス

効果音 350.1 無線を受信しました。

デジタル無線

各警察本部と移動局（緊急車両など）とが行う無線交信で、159MHz 帯～160MHz 帯の電波を受信します。通話内容がコード化（デジタル化）されており通話内容を聞くことはできませんが、音声と表示で警報を行い、付近を走行する緊急車両の走行を妨げないよう安全な回避を促します。

状況	アナウンス
遠い	効果音 デジタル無線を受信しました。
近い	効果音 デジタル無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 デジタル無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

署活系無線

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使用している無線交信の電波を受信します。

アナウンス

効果音 署活系無線を受信しました。

警報について

ワイド無線

警察専用の自動車携帯電話システムのこと。移動警察電話（移動警電）ともいいます。

状況	アナウンス
遠い	効果音 ワイド無線を受信しました。
近い	効果音 ワイド無線を受信しました。 緊急車両にご注意ください。
接近	効果音 ワイド無線を受信しました。 接近する緊急車両にご注意ください。

取締特小無線

シートベルト、一旦停止など取締現場では通常 350.1MHz 無線を使用しますが、取締りの連絡用などに特定小電力無線を使用する場合があります。

アナウンス
効果音 取締特小無線を受信しました。

警察活動無線

機動隊が主に災害や行事に使用する無線です。

アナウンス
効果音 警察活動無線を受信しました。

パトロールエリア

検問などで使用されている一定の無線電波を受信するエリアです。

アナウンス

効果音 パトロールエリアです。ご注意ください。

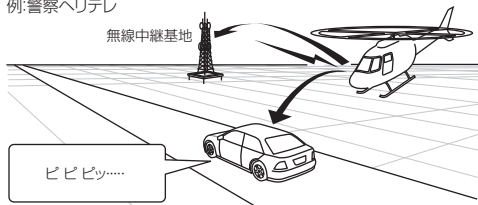
アドバイス

必ず検問、取締りなどを行なっているとは限りません。

警察／消防ヘリテレ無線

- ・警察ヘリテレは主に事件・事故などの情報収集、取締りなどの時に上空と地上とで連絡を取るために使われています。
- ・消防ヘリテレは火事などの事故処理や連絡用として使われています。

例:警察ヘリテレ



- ※一部地域又は、一部ヘリコプターにはヘリテレ無線が装備されていないため、本製品では受信できないことがあります。
- ※ヘリテレ無線は、ヘリコプターが電波を送信した時のみ受信することができます。
- ※送信電波の中継基地周辺ではヘリコプターの接近に関わらず受信することがあります。(警察ヘリテレのみ)

受信種類	アナウンス
警察ヘリテレ	効果音 警察ヘリテレ無線を受信しました。
消防ヘリテレ	効果音 消防ヘリテレ無線を受信しました。

新救急無線

救急車と消防本部の連絡用無線として使用しています。主に首都圏で使用されています。

アナウンス

効果音 新救急無線を受信しました。

警報について

消防無線

消防車が消火活動中や移動時に連絡用として使用している無線です。

アナウンス

効果音 消防無線を受信しました。

レッカー無線

東名、名神の一部高速道路や一部地域でレッカー業者が駐車違反や事故処理などの時に業務用無線を使用しています。

※ 一般の業務用無線と同じ周波数のため、地域によっては一般業務無線を受信することがあります。

アナウンス

効果音 レッカー無線を受信しました。

高速管理車両無線

東日本、中日本、西日本の高速道路株式会社が使用している業務連絡無線です。おもに渋滞や工事、事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用します。

アナウンス

効果音 高速管理車両無線を受信しました。

警備無線

各地の警備会社が使用する無線です。

アナウンス

効果音 警備無線を受信しました。

タクシー無線

各地のタクシー会社が使用する無線です。

アナウンス

効果音 タクシー無線を受信しました。

設定方法

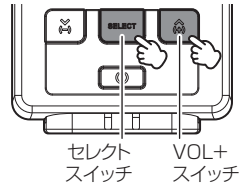
本体のスイッチ操作で本製品の設定を変更することができます。

※ 設定モード中に何も操作を行わないと約 10 秒後に設定モードを終了します。その際変更した内容は保存されます。

例：レーダー受信感度設定を【AUTO（初期設定）】から【HYPER】に変更するには・・・

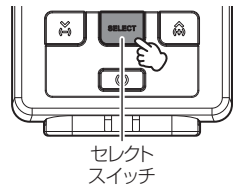
1. 待機中に【セレクトスイッチ】と【VOL + スイッチ】を同時に短押しし、レーダー受信感度設定モードに入ります。

- ・ 電源ランプが青点滅し、レーダー警報ランプと無線警報ランプが緑点滅します。

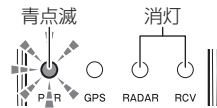


2. 【セレクトスイッチ】を 4 回短押しします。

- ・ 設定が変更されます。

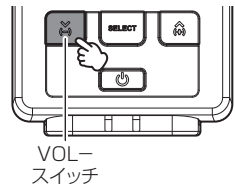


3. レーダー警報ランプと無線警報ランプが消灯します。



4. 【VOL - スイッチ】を短押しすると設定を終了します。

- ・ 何もスイッチを押さないで約 10 秒経過して設定が終了した場合も、変更した設定は保存されます。



設定

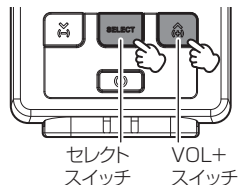
レーダー受信感度設定 (ASC 機能)

- ASC 機能とは、オート・センシティブ・コントロールの略称で、【AUTO】に設定すると、低速走行中（渋滞など）は受信感度を下げて警報音をミュート（消音）し、高速走行中はレーダーの受信感度を上げて警報しやすくします。
- 【AUTO】【LOW】【HI】【S-HI】【HYPER】から選択することができます。
- お買い上げ時は、【AUTO】に設定されています。

設定方法

待機中に【セレクトスイッチ】と【VOL +スイッチ】を同時に短押しすることでレーダー受信感度設定モードに入ります。

- 設定内容は【セレクトスイッチ】で変更します。
- 設定変更後【VOL -スイッチ】で設定を終了します。
- ※ 何もスイッチを押さないで約 10 秒経過して設定が終了した場合も、変更した設定は保存されます。





設定内容

受信感度設定	適切な走行場所	走行状態	LED 表示
AUTO (初期設定)	—	—	青点滅 緑点滅
LOW	市街地	低速走行	青点滅 赤点滅
HI	郊外地	中速走行	青点滅 橙点滅
S-HI	郊外地・高速道路	中・高速走行	青点滅 3色を順に点滅
HYPER	高速道路	高速走行	青点滅 消灯

● AUTO

[AUTO] に設定することで、走行する速度によってレーダーの受信感度を自動的に調節します。

<p>車両状態</p>	 信号待ち、低速走行時など	 走行中
<p>受信感度</p>	<p>LOW</p>	<p>LOW ⇄ HI ⇄ S-HI ⇄ HYPER と車速に応じて受信感度が変化</p>

機能	内容	走行速度	受信感度
<p>ASC 機能 (オート・センシティブ・コントロール)</p>	<p>自車の走行速度に合わせて設定を切替えます</p>	<p>30km/h 未満</p>	<p>LOW</p>
		<p>30km/h ~ 60km/h 未満</p>	<p>HI</p>
		<p>60km/h ~ 80km/h 未満</p>	<p>S-HI</p>
		<p>80km/h 以上</p>	<p>HYPER</p>

※ 衛星を受信できない場合は、受信感度が [HYPER] に固定されます。

設定

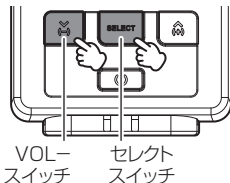
LSC 機能

- LSC 機能とは、ロー・スピード・キャンセルの略称で、渋滞などで車が低速走行時は、警報音を自動的にミュートする機能です。
- 【ON】【ALL-ON】【OFF】 から選択することができます。
- お買い上げ時は、【ON】 に設定されています。

設定方法

待機中に【VOL スイッチ】と【セレクトスイッチ】を同時に短押しすることで LSC 機能設定モードに入ります。

- ・設定内容は【セレクトスイッチ】で変更します。
 - ・設定変更後【VOL スイッチ】で設定を終了します。
- ※ 何もスイッチを押さないで約 10 秒経過して設定が終了した場合も、変更した設定は保存されます。



VOL-スイッチ セレクトスイッチ

状態	内容	LED 表示
ON (初期設定)	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報の警報音をミュートします。	
ALL-ON	低速走行時に GPS 警報、レーダー警報、および無線警報の警報音をミュートします。	
OFF	走行速度に関係なく警報音を鳴らします。	

LSC 機能の動作内容

走行状態	警報
停車中～ 30km/h	しない
30km/h 以上	する
LSC 機能を OFF、または GPS 衛星を受信していない時	する

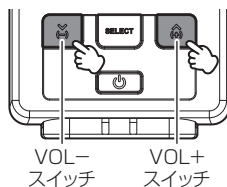
アラーム音を変更する

- ・レーダー警報およびオービス接近時の警報音をブザー 1 / ブザー 2 / ブザー 3 の 3 種類から選択することができます。
- ・お買い上げ時は、【ブザー 1】に設定されています。

設定方法

待機中に【VOL-スイッチ】と【VOL+スイッチ】を同時に短押しすることでアラーム音設定モードに入ります。

- ・設定内容は【セレクトスイッチ】で変更します。
- ・設定変更後【VOL-スイッチ】で設定を終了します。
- ※ 何もスイッチを押さないで約 10 秒経過して設定が終了した場合も、変更した設定は保存されます。



設定	内容	LED 表示
ブザー 1 (初期設定)		青点滅 赤点滅
ブザー 2	警報音をブザーで鳴らします。	青点滅 橙点滅
ブザー 3		青点滅 緑点滅

※ 設定を変更することに警報音が鳴り、確認することができます。

設定

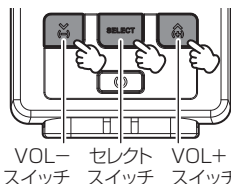
オートパワーオフ設定

- ・無操作、無振動の状態でも10分間経過した場合に自動的に本体電源をOFFにする機能です。
※再度電源をONにする場合は【電源スイッチ】を**長押し**して電源をONにしてください。(⇒P25)
- ・バッテリー動作時のみ有効です。
- ・お買い上げ時は、【OFF】に設定されています。

設定方法

レーダー本体の電源がOFFの状態でも、【VOL-スイッチ】と【セレクトスイッチ】と【VOL+スイッチ】を同時に押しながら電源をONにすることでオートパワーオフ設定モードに入ります。

- ・設定内容は【セレクトスイッチ】で変更します。
- ・設定変更後【VOL-スイッチ】で設定を終了します。
※何もスイッチを押さないで約10秒経過して設定が終了した場合も、変更した設定は保存されます。
- ・設定終了後、本体が再起動します。



設定	内容	LED表示
OFF (初期設定)	自動的に電源をOFFにしません。	青点滅 緑点滅
ON	無操作、無振動の状態でも10分間経過すると自動的に電源をOFFにします。	青点滅 橙点滅

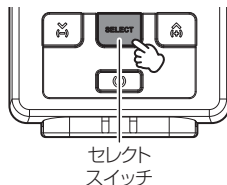
GPS 警報設定

GPS 警報の設定を 3 つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

待機中に【セレクトスイッチ】を**長押し**することで GPS 警報設定モードに入ります。

- ・設定内容は【セレクトスイッチ】で変更します。
 - ・設定変更後【VOL - スイッチ】で設定を終了します。
- ※ 何もスイッチを押さないで約 10 秒経過して設定が終了した場合も、変更した設定は保存されます。



機能	おまかせ 1 (初期設定)	おまかせ 2	オールオン
W オービス	OFF	OFF	距離：500m
速度監視路線			距離：3km
取締ポイント	ON	ON	ON
白バイ警戒エリア			
駐車監視エリア	OFF		
信号無視取締機ポイント	ON		
過積載取締機ポイント			
警察署エリア	OFF	OFF	
交番エリア			
高速警察隊エリア			
事故ポイント			
N システム			
ヒヤリハット地点			
SA/PA/HO			OFF
ハイウェイラジオ受信エリア			
道の駅ポイント			
海の駅ポイント			
急カーブポイント			
トンネルポイント			
県境ポイント			
分岐・合流ポイント			
逆走お知らせポイント			
消防署エリア			
スクールエリア			
踏切ポイント			
ゾーン 30	ON	ON	
ラウンドアバウト	OFF	OFF	
冠水エリア			
LED 表示	橙点滅 	赤点滅 	緑点滅

設定

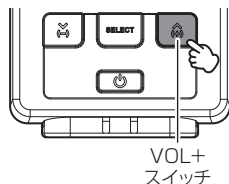
無線警報設定

無線警報の設定を 4 つのモードから簡単に切替える事ができます。

設定方法

待機中に【VOL+ スイッチ】を**長押し**することで無線警報設定モードに入ります。

- ・設定内容は【セレクトスイッチ】で変更します。
 - ・設定変更後【VOL- スイッチ】で設定を終了します。
- ※ 何もスイッチを押さないで約 10 秒経過して設定が終了した場合も、変更した設定は保存されます。



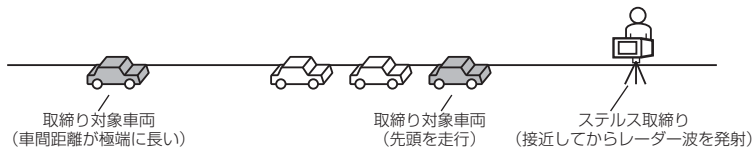
機能	オールオフ	おまかせ 1 (初期設定)	おまかせ 2	オールオン
カーロケ	OFF	ON	ON	ON
350.1MHz				
デジタル				
取締特小				
署活系				
ワイド				
警察 / 消防ヘリテレ		OFF	OFF	
レッカー				
新救急				
消防				
高速管理車両				
警察活動				
警備		ON	ON	
タクシー				
パトロールエリア	ON	ON		
LED 表示			消灯 GPS RADAR RCV	橙点滅 GPS RADAR P-V

取締りの種類と方法

レーダー式の取締り

● ステルス式取締方法（有人式取締り）

取締り対象の車が取締機の近くに接近してから、レーダー波を発射する狙い撃ち的な取締り方式です。走行車両の先頭や、前方走行車との車間距離が極端に長い場合などに測定されるケースが多く、100m以下の至近距離でレーダー波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わないことがありますので、先頭を走行するときは、注意が必要です。

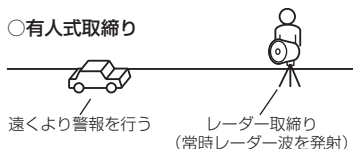


● レーダー式取締方法

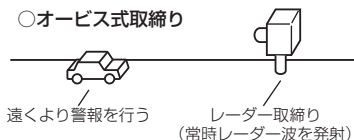
（有人式取締り／オービス式取締り／移動式小型オービス）

- ・レーダー波を常時発射し、通過する車両の速度を測定します。
- ・オービス式の場合は、違反車両を自動的に写真撮影します。多くの取締り現場に採用しておりレーダー波も500m以上の距離から受信することができます。また本製品に位置データが登録してある場合は、最長2kmより警報を行います。

○有人式取締り



○オービス式取締り



● 新Hシステム式取締方法（オービス式取締り）

レーダー波を間欠発射し、通過する車両の速度を測定し違反車両の写真撮影を自動で行い、警察本部の大型コンピュータへ専用回線で転送されます。レーダー波も500m前後で受信します。また本製品に位置データが登録してある場合は、最長2kmより警報を行います。



付録

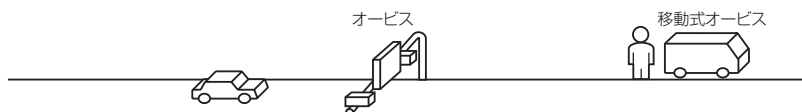
● 移動オービス式／パトカー車載式取締方法

ワンボックス車の後部にレーダー式オービスを搭載し、違反車両を取締る移動オービスとパトカーの赤色灯を改良して取締機を搭載したパトカー車載式があります。どちらも出力の強いレーダー波を発射しますので、500m以上の距離から受信することができます。

※ 移動オービスで、本製品で探知できない光電管式もあります。

● ダブルオービス式取締方法

固定式オービスの先に移動式オービスを設置することで、固定式オービス通過後に速度を上げる車両をねらい撃ちする二重オービスの呼称です。



レーダー式以外の取締り

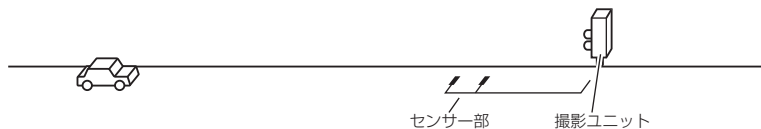
● ループコイル式取締方法（オービス式取締り）

測定区間の始めと終わりに磁気スイッチ（金属センサー）を路面下、中央分離帯などに埋め込み、通過時間から速度を算出し、違反車両の写真を撮影します。また本製品に位置データが登録してある場合は、最長 2km より警報を行います。



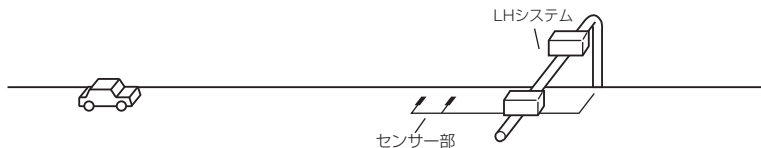
● ループコイル式オービスシステム

速度計測部はループコイル式と同様で、撮影ユニットをデジタル化し、通信機能を搭載した取締機です。また本製品に位置データが登録してある場合は、最長 2km より警報を行います。



● LH システム式取締方法（オービス式取締り）

速度計測部がループコイル方式で、違反車両の写真撮影がHシステム方式の取締機です。また本製品に位置データが登録してある場合は、最長 2km より警報を行います。



● 光電管式取締方法（有人式取締り）

2 点間に置かれたセンサーの通過時間から速度を算出し、違反車両を特定します。



● 追尾式取締方法

パトカー・覆面パトカー・白バイなどが、一定の車両間隔を保った状態で後方を追尾し、走行速度を測定し記録します。

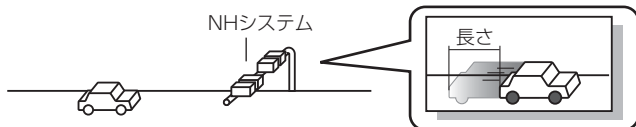


👉 アドバイス

光電管式取締方法（有人式取締り）および追尾式取締方法はレーダー波を発射しないタイプの取締方法のため本製品では探知できません。（光電管式取締方法に関しては本製品の取締ポイントに登録されている地点（⇒P45）であれば GPS 警報を行います）

● NH システム式取締方法

通過車両を一定のシャッタースピードで撮影し、写真画像の残像をコンピュータで解析し残像の度合いによって走行速度を割り出すシステムです。現在は車両識別用監視カメラとして稼動していますが、将来的には取締りに使用される可能性があります。



初期状態に戻す（オールリセット）

登録したすべてのデータをリセットし、お買い上げ時の状態に戻します。
※ 更新した GPS データは初期化されません。

⚠ 注意

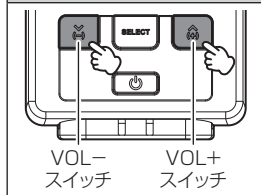
消去したデータの復元はできません。

- お買い上げ時にあらかじめ登録してあるデータは消去できません。
- ディスプレイモード中はオールリセットできません。

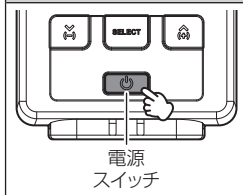
リセット方法

レーダー本体の電源が OFF の状態で、【VOL - スイッチ】と【VOL + スイッチ】を押しながら、電源を ON にしてください。

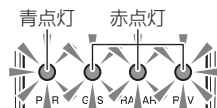
- ① 【VOL - スイッチ】と【VOL + スイッチ】を押しながら



- ② 【電源スイッチ】を長押しし、電源を ON にします。



- ③ 「オールリセットしました」のアナウンスと LED が全点灯すればリセット完了です。



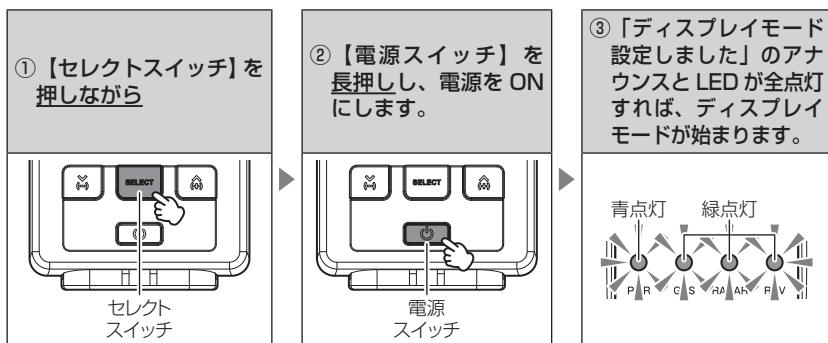
ディスプレイモード（販売店向け機能）

レーダー本体の一連の動きをデモンストレーションします。
本製品を店頭ディスプレイとして使用する場合に、設定してください。

ディスプレイモードは電源接続モード時のみ設定および動作します。バッテリー動作モードでは設定および動作はできません。

設定方法

レーダー本体の電源が OFF の状態で、【セレクトスイッチ】を押しながら、電源を ON にしてください。



解除方法

再度【セレクトスイッチ】を押しながら電源を ON にすると、ディスプレイモードは終了します。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●内蔵バッテリーは十分に充電はされていますか？ ●車両シガーソケットを分岐していませんか？ ●データ更新をした後ではないですか？データ更新が正常に終了していないと、電源が入らないことがあります。再度データ更新を行なってください。 	17 ページ 7 ページ 35～37 ページ
充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●バッテリー保護のため、低温時 / 高温時は充電を行いません。 ※充電温度範囲：0℃～+45℃ 	7 ページ
GPS 衛星を受信しない	<ul style="list-style-type: none"> ●フロントガラスが断熱ガラスなどではありませんか？ ●レーダー本体は正しく取付けられていますか？ ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ 	8 ページ 22 ページ 22 ページ
警報をしない	<ul style="list-style-type: none"> ●音量は正しく設定してありますか？ ●LSC 機能が作動していませんか？ 	29 ページ 66 ページ
・ GPS 警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●反対（対向）車線上のオービスではありませんか？ ●オービス・N システム以外のカメラではありませんか？ ●GPS 警報設定で OFF になっている警報ではありませんか？ ●新たに設置されたオービス・N システムではありませんか？ ●誤って警報キャンセルを設定していませんか？ ●走行エリアの設定は正しく設定してありますか？ 	22 ページ 41 ページ 40,50 ページ 69 ページ 35 ページ 33 ページ 39 ページ
・ レーダー警報をしない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●レーダー式以外の取締りではありませんか？ ●誤ってレーダーキャンセルを設定していませんか？ ●レーダー受信感度は適正ですか？ ●特定の場所でミュートがかかる場合は、誤警報キャンセルポイントとして登録されている場所の場合があります。 	72,73 ページ 32 ページ 64 ページ 54 ページ
・ 無線警報しない場合	<ul style="list-style-type: none"> ●無線警報設定で OFF になっている警報ではありませんか？ 	70 ページ
ユーザーポイント、レーダーキャンセルポイント、警報キャンセルポイントの登録ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺（アンテナ上部）に電波を遮断する物はありませんか？ ●各機能の登録可能件数の上限を超えて登録しようとしていませんか？ 	22 ページ 30,32,33 ページ

製品仕様

レーダー本体

電源電圧	DC5V	受信周波数
最大消費電流	0.4A	・ GPS 受信部 (1575.42MHz、 1598.0625 ~ 1605.375MHz 帯)
受信方式	パラレル 33ch ダブルスーパーヘテロダイン	・ Xバンド* (10.525GHz)
測位更新時間	最短 0.5 秒	・ Kバンド (24.200GHz)
検波方式	FM トラッキングタイムカウント方式	・ 取締用連絡無線 (350.1MHz 帯)
動作温度範囲	-10°C ~ 60°C	・ カー・ロケーター・システム (407MHz 帯)
本体サイズ	106 (W) × 63 (H) × 30 (D) / mm 突起部除く	・ デジタル無線 (159 ~ 160MHz 帯)
重量	130g	・ 署活系無線 (347MHz 帯、361MHz 帯)
対応 SD カード	microSD カード / microSDHC カード 16GB 以下	・ ワイド無線 (336 ~ 338MHz 帯)
		・ 警察ヘリテレ無線 (340 ~ 372MHz 帯)
		・ 消防ヘリテレ無線 (382 ~ 383MHz 帯)
		・ 取締特小無線 (422MHz 帯)
		・ レッカー無線 (154MHz 帯、 465 ~ 468MHz 帯)
		・ 新救急無線 (371MHz 帯)
		・ 消防無線 (150MHz 帯、466MHz 帯)
		・ 高速管理車両無線 (383MHz 帯)
		・ 警察活動無線 (162MHz 帯)
		・ 警備無線 (468MHz 帯)
		・ タクシー無線 (458 ~ 459MHz 帯、 467MHz 帯)

※ 本製品はおもに取締りに使用されている周波数を中心に受信します。そのため、記載されている周波数帯であっても受信できない周波数があります。

1/A

ASC 機能	64
GAGAN	9
GLONASS	9
GPS	9
GPS データ	35～37
G システム	25
microSD カード	28

あ

移動式小型オービス	71
オートディマー機能	29
オートボリュームダウン機能	29
オービス警報	41
オールリセット	74

か

冠水エリア	54
警報キャンセルポイント	33
誤警報キャンセルエリア	54

さ

充電	17
ステルス式取締	71
ステルス波	55
走行エリア	39
ゾーン 30	53
速度監視路線	44

た

ダブルオービス式取締	72
ディスプレイモード	75
データ更新	35～37
テスト機能	29
取締ポイント設定	45

は

バスメモリ	34
ひまわり	9
ヒヤリハット地点	48

ま

みちびき	9
------	---

や

ユーザーポイント	30
----------	----

ら

ラウンドアバウト	54
ループコイル式オービスシステム	72
レーダー警報	55

お問い合わせ

製品のお取り扱い方法、修理等に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または、お客様相談窓口にご相談ください。

お客様相談窓口  **0120-60-4955**

デイトナ商品についてのご質問、ご意見をフリーダイヤルで受け付けております。

株式会社 **デイトナ**
D927061

〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
ホームページ <http://www.daytona.co.jp>